

教育目標

やさしい心で、なかよく力いっぱい遊ぶ子

見つけたり、工夫したり、
創り出していける子
【自発・意欲】

美しいことに感動し、
思いやりのある子
【情緒・情操】

自分でできることは
自分でする子
【自立・生活習慣】

・友達と一緒に楽し
く遊べる子
【社会性】

現状と課題

- 定員85名のうち、3歳児13名 4歳児22名 5歳児21名 55名であり、充足率65%とかなり低い。
- 特別な支援を要する園児（児童発達支援事業所利用児、幼児支援教室利用児、医療のリハビリ利用児）が24名で、全体の44%を占める。

願う姿 自分で考え行動（考動）する子どもの育成

○園児の一人一人が生かされる

- ・一人一人の興味関心や欲求に基づいた直接的・具体的な体験を通して、主体的に遊んだり行動したりする子を育てる。
- ・自己の力を発揮できるよう環境を工夫したり、援助をしたりすることを通して、自分なりに考え、目的を達成しようとする子を育てる。とことん遊びこむ中で、探究心と創造力を育む。
- ・それぞれの行動や心の動きに教師が寄り添い、生かしながら遊びや生活を創り出すことで、ありのままの自分を肯定する気持ちを育てる。
- ・日々の生活の中で、基本的な生活習慣や、人やものとのふさわしいかかわり方を身につけることができるようにする。

○園児が仲間と共に育つ

- ・仲間とかかわるなかで、自分を表現し、友達のことを受けとめ、互いに認め合い、自分の思いを伝えあいながら生活を創っていかうとする子を育てる。
- ・異年齢とかかわりを通して、憧れの気持ちをもったり、優しさや思いやりの気持ちをもったりできるようにする。

○園が家庭との連携を深める

- ・保護者が健やかな子育てができるよう、家庭との連携を図りながら相互理解を図るやりとりを行うようにする。
- ・保育参加、懇談、講演会等を通して、保護者が教育に関心をもてるようにする。

○園が地域との連携を図る（地域の特性を生かした教育）

- ・地域の様々な方と触れ合うことで、社会と繋がり、考えや価値観が広がるようにする。
（田畑での活動、おもちゃづくり、ふれあいサロン等。地域に愛される幼稚園）
- ・未就園児の遊びの会、園庭開放を行うことで、地域の未就園児の保護者の子育て支援の場となるようにする。
- ・小中学校と交流を図ることで、子どもが憧れの気持ちをもったり、職員がお互いの教育を知ったりする機会となるようにする。

○全教職員が協同して子どもの教育に取り組む

- ・全教職員が連携を図ることで、一人一人の子どもに寄り添い、協同して園を運営していく。
- ・園内研修会や打ち合わせ等を通して、保育の力量を高め合ったり、支援の必要な園児に対しきめ細やかな指導を行ったりする。
- ・全職員が危機管理意識を高め、災害や事故、感染症等に対する安全性を確保する。